

P-245 子宮頸部上皮内腫瘍の増殖マーカーによる多角的解析とその診断的意義について

岩手医大

金子重信、井筒俊彦、西谷巖

[目的]子宮頸部上皮内腫瘍の悪性度を評価し、管理と治療の基準を確立するため、Bromodeoxyuridine (BrdU), Proliferating cell nuclear antigen (PCNA), new Ki-67 nuclear antigenの各モノクローナル抗体の標識率と、Nucleolar organizer regions (Ag-NOR) のdot数の解析とを組合せた。[方法] 正常上皮を対照に、軽度、中等度、高度の各異形成および上皮内癌をBrdU, PCNA, new Ki-67の各モノクローナル抗体で酵素抗体法により染色した。BrdU labeling index (B.L.I.), PCNA labeling index (P.L.I.), MIB-1 index (M.L.I.)は組織標本上の細胞1000にたいする陽性細胞を算出した。またNOR染色はCrocker法により、核内のNOR-dot数を算定した。[成績] 正常扁平上皮のB.L.I.は 1.9 ± 0.9 (n=9)で、異形成では軽度 4.4 ± 1.1 (n=5),中等度 4.6 ± 1.4 (n=5),高度 10.9 ± 4.2 (n=5)および上皮内癌 14.2 ± 6.3 (n=8)で上昇した。P.L.I.は正常で 4.1 ± 1.3 (n=10)、異形成では、軽度 16.9 ± 8.0 (n=10),中等度 26.5 ± 12.4 (n=11),高度 56.8 ± 6.5 (n=10),上皮内癌 46.0 ± 15.4 (n=13)と病変の進行とともに上昇した。M.L.I.は、正常で 15.2 ± 6.5 (n=10)と低値であったが、異形成では軽度 26.4 ± 10.2 (n=10),中等度 34.0 ± 14.5 (n=10),高度 48.7 ± 10.2 (n=10)であった。Ag-NORのdot数は、正常 1.6 ± 0.2 (n=11)、異形成では、軽度 2.2 ± 0.5 (n=10),中等度 2.5 ± 0.5 (n=11),高度 3.0 ± 0.6 (n=10),上皮内癌 2.7 ± 0.3 (n=13)であった。[結論] 正常のB.L.I., P.L.I.およびM.L.I.は低値、異形成では病変が進行するにつれて上昇した。しかし注目されることは、中等度異形成とおよび高度異形成との間に、有意差(P<0.05)を認め、これが治療へのgo-signとなる。また、B.L.I., P.L.I., M.L.I. およびAg-NOR dot数の間にも有意の正の相関を認めたので、増殖能の評価に有用であった。

P-246 子宮頸癌の発癌過程におけるTn, STn抗原の発現とその臨床病理的意義

徳島大

寺澤晃司, 西村正人, 桂 真澄, 古本博孝, 鎌田正晴, 青野敏博

[目的] 母核糖鎖抗原であるTn, シアリルTn (STn) 抗原が子宮頸癌の一連の悪性変化の中でどのように発現変化するかを免疫組織学的に調べ、それらの臨床病理的意義について検討を加える。[方法] 正常扁平上皮36例, 高度異形成22例, 上皮内癌24例, 浸潤癌83例, 転移リンパ節27例のパラフィン包埋切片を用いてABC法による免疫染色を行った。一次抗体にはそれぞれ2種の抗Tn (HB-Tn1, B1.1), 抗STn (HB-STn1, TKH-2) モノクローナル抗体を使用した。浸潤癌については、両抗原の発現と臨床病期, 組織型, 傍組織進展, 脈管侵襲, リンパ節転移, 5年生存率との関連性を検討した。対象細胞の5%以上の染色を発現陽性とした。

[成績] 1) Tn抗原は浸潤癌のみに有意に発現し (HB-Tn1; 20%, B1.1; 23%), 正常扁平上皮, 高度異形成, 上皮内癌では陽性例は認められなかった。2) STn抗原は高度異形成より発現がみられ (HB-STn1; 64%, TKH-2; 50%), 上皮内癌 (54%, 42%) と浸潤癌 (58%, 51%) は同様の陽性率を呈し, 発現を認めなかった正常扁平上皮との間に有意差を認めた。3) Tn抗原発現例の89%にSTn抗原の共発現がみられた。4) リンパ節転移巣と原発巣との間に染色パターンの相違は認められなかった。5) いずれの抗原とも臨床病期, 組織型, 傍組織進展, 脈管侵襲, リンパ節転移, 5年生存率との間に関連性を認めなかった。

[結論] 各抗原とも子宮頸部扁平上皮癌のリンパ節転移や予後との関連はなかったが, Tn抗原の発現は上皮内癌から浸潤癌への進展, STn抗原の発現は正常上皮から異形成への悪性変化に特異的な変化であることを明らかにした。